

総合計画重点事業一覧(2021年度(令和3年度)事業実績評価書 兼 2022年度(令和4年度)事業実施計画書)

資料1-2①

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段) 2021年度事業実績・成果、2022年度の変更点等(下段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価	
							開始前	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)		目標(達成時期)
1	1	1	(1)	自然・景観保護推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民の自然・景観を保護していくことへの理解や保護に向けた活動の促進を図るための啓発活動を推進。</li> <li>・草原維持のための牧野組合が実施する野焼き費用を補助。</li> <li>・野焼きや志賀瀬川沿いの桜並木など本町らしい景観を撮影しCATVで番組放送を行った。また、阿蘇世界文化遺産登録に関するパンフレットやポスターの配布等に取り組んだ。</li> <li>・野焼き関連補助を実施し、野焼き実施面積を増やすことができた。</li> </ul>	啓発活動件数(件)	15	12	15				20(毎年度)	B
						野焼き実施面積(ha)	2,355	2,353	2,433				2,355(2024年)	
						関連予算額(千円)	/	108,101	108,396	111,936	0	0	/	
2	1	1	(1)	日本で最も美しい村づくり事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民による日本で最も美しい村づくりにつながる活動(特産品開発、景観保全、伝統文化承継等)の補助等。</li> <li>・2021年度は、特産品開発2件、伝統文化芸能2件に対して補助を実施し、町民による美しい村づくりにつながる活動を支援した。</li> <li>・美しい村連合阿蘇支部(高森町との連携)で、宝探しイベントを実施し、本町の魅力を幅広くPRすることができた。</li> </ul>	日本で最も美しい村づくり事業を活用した町民の活動件数(件)	3	0	4				5(毎年度)	B
						関連予算額(千円)	/	1,955	7,586	7,958	0	0	/	
3	1	1	(1)	農林業への新規就労支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農業次世代人材育成投資資金等により新規就労者の経済的支援</li> <li>・新規就労者と既存事業者間の人脈形成、経営課題や情報共有結束強化を図るための事業者間の交流活性推進。</li> <li>・営農集団の設立、法人化に向けた活動支援。</li> <li>・農業法人への就職という形で、3名が新規就労した。</li> <li>・農業担い手育成事業補助金を創設し、担い手の支援を行った。</li> <li>・設立予定地区の会議等に参加し、説明や関係機関との調整を行った。</li> </ul>	農林業への新規就労者数(人)	0	2	3				3(期間累計)	B
						営農を主目的として活動する団体数(団体)	5	5	5				7(2024年度)	
						関連予算額(千円)	/	9,600	6,375	3,000	0	0	/	
4	1	1	(2)	林業の負担軽減事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・林業機械等導入事業により林業機械、安全装備品の導入費用を補助。</li> <li>・作業道の原材料支給により作業の軽減を推進。</li> <li>・林業機械2件、チェーンソー5件、安全装備品1件の導入補助を実施したことで林業の負担を軽減化。</li> <li>・作業道の原材料支給を実施し、林産物搬出の円滑化を実施。</li> </ul>	補助金の活用による林業機械等導入件数(件)	11	17	6				15(2024年度)	C
						関連予算額(千円)	/	3,297	5,461	7,070	0	0	/	

総合計画重点事業一覧(2021年度(令和3年度)事業実績評価書 兼 2022年度(令和4年度)事業実施計画書)

資料 1 - 2 ①

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本 目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段) 2021年度事業実績・成果、2022年度の変更点等(下段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業 評価	
							開始前	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)		目標 (達成時期)
5	1	1	(2)	農林業競争力強化支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>町内外のイベント並びにSMOのホームページ及びふるさと納税関連サイト等の電子媒体を通じて、本町の農林産品の良さを効果的にPRし、事業者の売上げにつなげる。</li> </ul>	ふるさと納税返礼品代として農林業関係事業者に支払われた額(千円)	4,085	16,365	15,478				6,944 (2024年度)	B
					<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年度のふるさと納税謝礼品を寄附者へ送付し、その代金として農家及び林業従事者に支払いを行った。</li> <li>多くの人にふるさと納税を検討いただくため、ふるさとチョイスやふるなび、楽天市場など5つのふるさと納税サイトに登録している。</li> </ul>	関連予算額(千円)		34,294	32,427	32,427	0	0		
6	1	1	(3)	観光関連情報発信強化事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>SMOや観光協会と連携した地域資源・観光資源の発掘、利活用、販売及び情報発信等(ふるさと納税制度の活用を含む)。</li> </ul>	観光関連情報の閲覧件数(PV)	161,690	533,970	555,836				300,000 (2024年度)	A
					<ul style="list-style-type: none"> <li>2021年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により思うような情報発信等を行うができなかったが、HPの閲覧件数は2020年度と同水準を保つことができた。</li> <li>2021年度のふるさと納税謝礼品を寄附者へ送付し、その代金として南小国町観光協会及び黒川温泉観光旅館協同組合に支払いを行った。</li> <li>多くの人にふるさと納税を検討いただくため、ふるさとチョイスやふるなび、楽天市場など5つのふるさと納税サイトに登録している。</li> </ul>	ふるさと納税返礼品代として観光業関係事業者に支払われた額(千円)	26,150	32,578	44,051				32,263 (2024年度)	
					関連予算額(千円)		119,318	149,860	135,975	0	0			
7	1	1	(3)	観光客受入環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>ハード(設備のバリアフリー化等)、ソフト(多言語対応等)両面で観光客の満足度が高まるような環境の整備を促進。</li> </ul>	観光客受入環境整備実施件数	30	1	2				35 (2024年度)	C
					<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的に、町内事業者に対し抗原検査簡易キット及びアルコールディスペンサーの配布を行った。</li> </ul>	関連予算額(千円)		38,131	28,307	23,367	0	0		
8	1	2	(4)	教育ICT環境整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校へのICT機器備品(タブレット端末)を整備する。</li> </ul>	児童生徒のための学習用コンピュータの整備率(人/台)	3.88	1.00	1.00				1.5 (2024年度末)	A
					<ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器備品(タブレット端末)300台を購入済。</li> </ul>	関連予算額(千円)		16,500	0	0	0	0		

総合計画重点事業一覧(2021年度(令和3年度)事業実績評価書 兼 2022年度(令和4年度)事業実施計画書)

資料 1 - 2 ①

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段) 2021年度事業実績・成果、2022年度の変更点等(下段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価		
							開始前	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)		目標 (達成時期)	
9	1	2	(4)	故郷を愛する心を育成する教育推進事業	・小中学生を対象とした故郷を愛する心を育成するための教育プログラムに対する満足度をアンケート調査にて実施する。	故郷を愛する心を育成するための教育プログラムに対する満足度(点/4点満点)	-	3.67	3.69					3 (毎年度)	A
					・教育プログラムを受けた児童生徒にアンケートを実施し集計済。	関連予算額(千円)	/	640	877	780	0	0	/		
10	1	2	(4)	学校給食提供環境整備事業	・学校給食センター老朽化に伴う改築を計画。 ・地元産食材を調達できる体制を構築し、食を通じた学びを促進する。	令和6年度までに学校給食センター改築工事を完了	-	検討	検討					完了 (2024年度末)	C
					・用地取得や移転先、委託先について検討・協議するも不調。2022年度も引き続き検討を行う。 ・地元産食材の調達について、概ね体制構築はできていることから、現体制の維持及び強化を図っていきたい。	関連予算額(千円)	/	0	0	0	0	0	/		
11	1	2	(5)	未来づくり事業	・SMOと連携して起業希望者や起業型地域おこし協力隊を支援するメニューを提供。 ・2021年度からは、新たに町内事業者の担い手不足を解消するための人材獲得に向けたマッチングや、人材データバンク運用にも取り組む。	未来づくり事業による起業及び新規事業件数(件)	-	6	4					18 (期間累計)	B
					・前年度から引き続き、起業型地域おこし協力隊が取り組む「黒川温泉入湯手形の技術継承の仕組みづくりを通じた森林資源の活用」や「南小国町有機・小規模農業のIoT化」などについて、起業に向けた支援を行った。また、2022年度からは新たに3名の協力隊が起業や町内企業の新規事業プロジェクトの参画などの活動を行っている。 ・2021年度から町内事業者の人手不足解消と、働き手の多様な働き方の実現に向け、事業者へのヒアリングによる仕事の切り分けやトライアル事業などを実施するとともに、南小国町にあった仕組みづくりを検討した。2022年度からは、業務委託型短時間ワークショップ「しごとコンビニ」制度も導入し、更に取組みを推進する。	関連予算額(千円)	/	50,302	25,028	59,754	0	0	/		

総合計画重点事業一覧(2021年度(令和3年度)事業実績評価書 兼 2022年度(令和4年度)事業実施計画書)

資料 1 - 2 ①

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段) 2021年度事業実績・成果、2022年度の変更点等(下段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価	
							開始前	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)		目標 (達成時期)
12	1	2	(5)	夢チャレンジ推進事業	・町民による起業に係る経費の一部を補助。	夢チャレンジ補助金による起業及び新規事業件数(件)	8	4	1				38 (期間累計)	C
					・夢チャレンジ推進事業に2件の応募があったが、コロナ禍で事前準備に時間がかかり、年度内での完了が見込めないため、1件取り下げとなり、事業を実施できたのは1件のみとなった。 ・申請相談は数件あったものの、コロナ禍における不安や、自主財源確保の見通しがたたないことなどから、実施の申請件数は伸び悩んだ。	関連予算額(千円)	/	6,560	2,499	15,000	0	0	/	
13	2	3	(7)	移住希望者相談支援事業	・関係機関とも連携して、移住希望者の相談体制を構築。 ・移住者の定着に向けた支援。	移住相談件数(件)	30	39	47				200 (期間累計)	B
					・「空き家バンク」登録物件の内覧対応を行った。 ・感染症の影響もあったが、オンライン形式や、九州内で実施された対面形式での移住関連イベント等への出展を行った。 ・2021年度から新たに移住定住コーディネーターを設置し、空家対策と絡めて町内の空家等に関する情報収集を行った。また、移住者と地元住民とのつなぎ役を担った。	関連予算額(千円)	/	6,311	7,385	6,960	0	0	/	
14	2	3	(7)	住宅確保促進事業	・民間による賃貸住宅整備を補助。 ・空家バンクの運用。 ・空家の改修による賃貸住宅化。	民間賃貸住宅整備戸数(戸)	12	2	12				12 (期間累計)	A
					・民間賃貸住宅確保プロジェクト補助金を活用した賃貸住宅を12戸整備。 ・「空き家バンク」の物件充実に向け、チラシ等を活用した広報活動に取り組み、住宅の確保を行ったが、移住希望者から求められる物件の確保には至らなかった。 ・2021年度から空家等を活用した賃貸物件確保に向けて取り組んだが、空家自体の状況や耐震関係の問題があり、改修等の実施はできなかった。	関連予算額(千円)	/	2,000	12,000	13,000	0	0	/	
15	3	4	(10)	児童の放課後の居場所確保支援事業	・児童の放課後の居場所の確保が困難な家庭を支援するための仕組みの創設。	児童の放課後の居場所を確保する仕組みの創設	-	放課後子ども教室 拡充	放課後子ども教室 拡充				創設完了 (2020年度末)	B
					・教育委員会所管の放課後子ども教室を週4日に拡充し、2022年度から実施することとした。	関連予算額(千円)	/	0	0	0	0	0	/	

総合計画重点事業一覧(2021年度(令和3年度)事業実績評価書 兼 2022年度(令和4年度)事業実施計画書)

資料 1 - 2 ①

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段) 2021年度事業実績・成果、2022年度の変更点等(下段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価		
							開始前	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)		目標(達成時期)	
16	3	4	(10)	子育て世代包括支援センター設置・運営事業	<p>・妊娠期から子育て期まで切れ目ない総合的な支援を行う「子育て世代包括支援センター」の設置・運営。</p> <p>・必要となる専門職員の確保ができなかったため、2021年度中の設置はできなかった。専門職員の確保と関係課との協議を継続。</p>	<p>子育て世代包括支援センターの設立</p> <p>子育て世代包括支援センターの利用満足度(%)</p> <p>関連予算額(千円)</p>	-	未設立	未設立					<p>設立完了(2020年度末)</p> <p>100(運営開始後毎年度)</p>	C
17	3	4	(11)	「通いの場」創出促進事業	<p>・介護予防や健康増進につながる地域住民の交流機会としての「通いの場」づくりの支援。</p> <p>・コロナ禍の影響で新規の通いの場の立ち上げには至らなかったが、既存の通いの場13箇所においては解散することなく活動が行われた。</p>	<p>週1回以上開催している住民主体の通いの場の箇所数(箇所)</p> <p>週1回以上開催している住民主体の通いの場の高齢者参加率(%)</p> <p>関連予算額(千円)</p>	10	13	13					<p>20(2024年度末)</p> <p>10(2024年度)</p>	B
18	3	4	(11)	支え合い活動担い手育成事業	<p>・地域における支え合い活動に「生きがい」や「役割」を感じながら主体的に参画する担い手となる町民を増やすため、福祉教育、広報、啓発活動等に取り組む。</p> <p>・コロナ禍において活動自粛が続き、主体的な活動の展開に至らなかった。</p>	<p>住民ボランティア等担い手の人数(人)</p> <p>関連予算額(千円)</p>	37	37	37					<p>50(2024年度)</p>	C
19	4	5	(12)	タクシー利用助成事業	<p>・運転免許証を保有しない高齢者や運転ができない障がい者にタクシー利用費の一部を助成。</p> <p>・2021年度は延べ約1万人が利用し、また利用者の満足度も2020年度に引き続き90%を超えるなど運転免許を保有しない高齢者等の交通手段の確保に寄与した。</p>	<p>タクシー利用助成事業に関する利用者満足度(%)</p> <p>関連予算額(千円)</p>	68	96	94					<p>70(毎年度)</p>	A

総合計画重点事業一覧(2021年度(令和3年度)事業実績評価書 兼 2022年度(令和4年度)事業実施計画書)

資料 1 - 2 ①

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段) 2021年度事業実績・成果、2022年度の変更点等(下段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価	
							開始前	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)		目標 (達成時期)
20	4	5	(14)	町道中湯田赤迫線改良事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>町道中湯田赤迫線(瓜上矢田原線)の古賀集落から矢田原集落間の延長約2kmを、道路幅員3~4mから5mの道路に改良する。</li> <li>延長210mの改良及び舗装工事を実施。(改良済延長1,270m)</li> </ul>	町道中湯田・赤迫線の道路改良を完了 (数値は進捗率)	49%	54%	65%				完了 (2024年度末)	B
						関連予算額(千円)	/	64,181	70,819	140,000	0	0	/	
21	4	5	(15)	ICT・IoT導入に向けた調査・研究事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>本町に適したICT・IoT導入方法を研究し、ロードマップを作成。</li> <li>2021年度は、2020年度に策定した「地域情報化計画」に基づいた10事業の導入、導入検討に取り組んだ。多くの事業で費用面や実施するタイミングの問題で検討継続となった。しかし、医療・福祉・介護の連携システム稼働や、ホームページのアンケート機能活用など、一部導入まで進んだ事業もあった。</li> </ul>	ICT・IoT関連ロードマップ作成	-	作成完了	-	-	-	-	作成完了 (2020年度末)	B
						関連予算額(千円)	/	0	0	0	0	0	/	
22	4	5	(15)	ドローン利活用の展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドローンの利活用による事務作業の効率化。</li> <li>ドローン関係のシステムと他のシステムとの連携により、災害に備えた体制の構築。</li> <li>ドローンによる輸送の実証事業や、有害鳥獣捕獲への活用など、ドローンの利活用に向けて取り組んだ。</li> </ul>	ドローン撮影データのアップロード量及び活用量(GB)	40	4	13				70 (2024年度)	A
						関連予算額(千円)	/	5,965	3,677	4,205	0	0	/	
23	4	6	(18)	木質バイオマス導入促進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>温泉館きよらの木質チップボイラ等を活用し、民間による導入促進に向けたPR活動を実施</li> <li>広報誌掲載1回、CATV[放送3回、出前授業内で啓発活動を行った。</li> <li>ペレットストーブ等購入補助金により、1件の新規導入があった。</li> </ul>	木質バイオマス導入に向けた啓発活動実施件数(件)	0	6	5				6 (毎年度)	B
						関連予算額(千円)	/	658	300	750	0	0	/	

総合計画重点事業一覧(2021年度(令和3年度)事業実績評価書 兼 2022年度(令和4年度)事業実施計画書)

資料 1 - 2 ①

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価	
					2021年度事業実績・成果、2022年度の変更点等(下段)		開始前	R2(2020)	R3(2021)	R4(2022)	R5(2023)	R6(2024)		目標(達成時期)
24	4	6	(19)	再生可能エネルギー導入に向けた調査・研究事業	・エネルギー対策PTを組織し、本町に適した再エネ導入方法を研究したうえで、ロードマップを作成。	再生可能エネルギー関連ロードマップ作成	-	作成完了	-	-	-	-	作成完了(2020年度末)	A
					・2020年7月にエネルギー対策PTを設置し、5回のPT会議や先進地視察、パブリックコメントなどを経て、2021年3月に「南小国町再生可能エネルギー導入ロードマップ」を作成。	関連予算額(千円)	/	2,250	0	80	0	0	/	
25	4	6	(19)	再生可能エネルギー導入推進事業	・民間による再エネ関連設備の導入促進に係る経費の一部を補助。 ・役場直轄による再エネ関連設備の導入。	役場関与により導入された再生可能エネルギー施設導入件数(件)	0	0	5				5(期間累計)	B
					・2021年度から実施の太陽光発電設備等導入促進補助金により、5件の導入があった。 ・小水力発電実証事業は、制度の見直し等が必要となり、完了できなかったため、2022年度も引き続き実施する。 ・2022年度から新たに太陽熱利用に係る実証事業を実施する。	関連予算額(千円)	/	0	2,390	9,618	0	0	/	
26	4	6	(20)	町民の省エネ活動促進のための普及啓発事業	・町民向けに省エネの必要性や省エネにつながる具体的な活動について理解しやすい形での周知広報活動に継続的に取り組む。	省エネ活動に関する啓発活動実施件数(件)	2	13	4				12(毎年度)	C
					・ゴミカレンダーやホームページを使って、ゴミの分別・リサイクル・二酸化炭素排出量に関して周知を行い、こどもデイサービスにおいては、省エネについて講話の後防災食づくりを行った。 ・2022年度は、第4次南小国町地球温暖化防止実行計画に沿って、省エネについて定期的に広報を行う予定。	関連予算額(千円)	/	0	5	5	0	0	/	

地方創生交付金事業一覧(令和3年度事業実績評価書 兼 令和4年度事業実施計画書)

資料 1 - 2 ②

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段) 令和3年度事業実績・成果、令和4年度の変更点等(下段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業評価	
							開始前	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)		目標 (達成時期)
101	2	3	(7)	地域DMOを中核とした海外からの人流受入体制強化事業	㈱SMO南小国への補助事業として次の事業を推進。 ①インバウンド(外国人観光客)を主要ターゲットとする町の魅力を発信する動画の制作、配信及び着地型ツアーメニューとの連動 ②町内の外国人の定着に向けたコミュニティづくりの支援及び観光産業の担い手としての育成プログラムの企画・実行  ・2020年度に作成した11本に続き、2021年度も11本の動画を作成・配信した。コロナ禍により外国人宿泊者数は激減したが、Youtube広告の成果もあり、動画視聴回数は2020年度から大きく増加するなど、コロナ後のインバウンド増に向けた取組を進めている。 ・コロナ禍のため、開催形態を検討しながら、多文化交流を目的とした交流会などを10回(うちオンライン3回)実施した。また、観光人材育成プログラムを4回実施したほか、外部団体主催の研修に外国人受入に係るプログラムを追加して実施してもらうなど、外国人の担い手化・定着化に向けた取組も推進した。 ・今後も、コロナ禍でも実施できる取組など検討し、推進していく。	・本町への外国人宿泊者数(千人)	79.1	12.1	0.2				96 (2022年度)	B
						・制作した動画の閲覧数(千PV)	0.0	4.1	32.5				66.9 (期間累計)	
						・町内外国人向けプログラム延べ参加者数(人)	0	57	235				420 (期間累計)	
						関連予算額(千円)		12,000	12,000	12,000				
102	2	3	(7)	まちの人事部機能の創出による人材還流促進及びデータバンク構築・利活用事業	㈱SMO南小国への委託事業として次の事業を推進。 ①兼業・複業など多様な働き方も含めた柔軟な視点での町内事業所等の求人ニーズの調査・分析するとともに、働き手の求職ニーズを分析し、最適なマッチングを行うとともに、合同研修等を通じた人材の育成・定着を促進する。 ②本町に関わる、又はその可能性がある、複数地域で多様な活動を展開する人材(地域越境人材)について、その情報を活用しやすい形で整理したデータバンクを運用する。  ・㈱SMO南小国に業務委託を行い、人手が足りない町内事業者へのヒアリング及び業務の切り分け、また町内外の働き手の求職ニーズ調査及び事業者とのマッチングを行うよう取り組んだ。その中で、事業実施のノウハウが不足している部分を補い、より効果のあるものとするため、検討を行った結果、類似の取組として既に成果を上げている、業務委託型短時間ワークシェアリングである「しごとコンビニ」制度を取り入れることとした。2022年度から、南小国町の状況に合うよう調整しながら、本格的に取り組んでいく。 ・前事業であるローカルベンチャー事業で立ち上げた事業などの売り上げがあったほか、試行的にSMOの職員を人手が足りない団体に派遣し、人手不足への対応に係る検証を行うなどの取組も行った。	起業及び新規事業による売上総額(千円)	-	-	1,755.3				18,000 (期間累計)	B
						新たな雇用事業登録マッチング件数(件)	-	-	4				155 (期間累計)	
						地域越境人材データバンク登録人数(人)	-	-	15				90 (期間累計)	
						当該事業による移住者数(人)	-	-	3				17 (期間累計)	
						関連予算額(千円)	-	-	14,000	24,000	0			

地方創生交付金事業一覧(令和3年度事業実績評価書 兼 令和4年度事業実施計画書)

資料1-2②

事業評価欄は、次の4段階で事務局による自己評価を記載  
A:良好、B:概ね良好、C:やや良好でない、D:良好でない

NO	基本 目標	戦略	施策	事業名	事業概要(上段) ----- 令和3年度事業実績・成果、令和4年度の変更点等(下段)	KPI・予算(単位)	KPI(上段)及び予算額(下段)の推移						事業 評価	
							開始前	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)		目標 (達成時期)
103	2	3	(7)	ローカルベンチャー推進事業	㈱SMO南小国への委託事業として次の事業を推進。 ①ローカルベンチャースクール事業(人材育成事業) ・南小国町が取り組んでいる観光を軸とした農林畜産業の振興というコンセプトに基づき、町内外の創業を志向する者等に対して、南小国町における創業促進を目的として開講する。 ②ローカルベンチャー活動発信事業(マッチング事業) ・都市部人材に向け、Webサイトの活用や各種イベントへの出展を通じて当町のローカルベンチャーへの取組み状況等の情報発信を行うことにより、当町への関心を喚起する。また、関係人口や移住、就労、起業を含めた南小国町に関わる人の可視化を目的としたシステムを開発することにより、ローカルベンチャー人材の発掘及びマッチングを実施する。 ③ローカルベンチャー支援事業(事業成長支援事業) ・南小国町において起業創業した者に対し、伴走しながら事業を軌道に乗せるためのノウハウを提供するメンター、その他事務に従事する専門スタッフを配置する。	ローカルベンチャーによる売上規模(千円)	50,000	290,000	-	-	-	/	200,000 (2020年度)	-
					新規事業創出数(件)	2	6	-	-	-	/	5 (2020年度)		
					起業家型人材の地域へのマッチング数(人)	3	16	-	-	-	/	12 (2020年度)		
					関連予算額(千円)	51,472	38,470	-	-	-	/	/		